

# 釧路短期大学 道東文化塾2017

— 科学の目線 北方圏と大陸圏を視野に —

趣旨 道東地方の広い分野にわたって文化的意義をもつ事象の現状と問題点及び将来についての考え方を、それぞれの専門家の話題として楽しく提供してもらう

第1回 5月20日(土) 13:30~15:00

鈴木 直哉氏 (FMくしろ パーソナリティ)  
「地域の魅力、ここがオススメ」

「地域の魅力」。多数が注目、期待も高い。マチの利点、高評価を長く維持するため不可欠な要素を市民で共有し、自らのことばで説明できる取り組みの出発点に。

日程については第1回目にご都合をお伺いします

第3回 6月20日(火) 9:00~16:00

佐藤 宥紹 (釧路短期大学生涯教育センター長)  
厚岸海事記念館学芸員

「エクステンションツアー  
in 異国船来泊地 (厚岸郡)」

江戸時代。アクセスは良湊=りょうそうで知られていました。①あつけし望洋台、②海事記念館、③筑紫恋海岸、④末広、⑤羨古丹を訪問、現地の当時の記録を。

第5回 8月19日(土) 13:30~15:00

高瀬 英雄氏 (松浦武四郎記念館名誉館長)  
「松浦武四郎と伊勢国の教養」

武四郎翁の業績を道民が伝える努力をするも、そこをはるかに超える豊富な著作、緻密な調査に出色の貢献。その背景を伊勢国の学問風土から照射。

第7回 10月7日(土) 13:30~15:00

田野氏 (釧路短期大学非常勤講師)  
「現代中国文化理解の序章」

巨大国家・中国。その成長に大きな存在感。古来、我が国との深い交流を繰り広げながらも、理解のポイントを見つけ出した。多くの方が、関心を寄せているのでは。

第2回 6月17日(土) 13:30~15:00

釧路鳥取きりん獅子舞保存会  
「釧路鳥取きりん獅子舞」

昭和15年、故郷の神社に伝わる「麒麟獅子舞」を鳥取神社に奉納しました。例大祭では公開されても、市中で拝観することの少ない芸。構成、構造、コンセプトを示します。

第4回 7月1日(土) 13:30~15:00

高嶋 八千代氏 (道東植物研究家)  
「都市の中の自然 その学び方」

岩波ジュニア新書で『都市の自然を歩こう』(1995年)の一冊。<日本の自然史博物館>とも言われる釧路で、なにげなく通りすぎる町なか。足元の自然を楽しむ方法。

第6回 9月16日(土) 13:30~15:00

山本 悦也氏 (釧路アイヌ文化懇話会会長)  
「アイヌ民族学 地域で学ぶ意義」

昭和61年に発足の釧路アイヌ文化懇話会は、昨年創立30周年を迎えた。松本成美会長の業績を継承しつつ、言語学の立場で民族文化の深化、精緻化に取り組む現代的意義。

- 会場：釧路短期大学講義室
- 募集定員：各30名
- 受講料：各800円(第3回1,500円)  
一括申し込み4,000円  
(同窓生、在籍学生、高校生は無料)
- 受付締切：5月12日(金)まで(定員締切)
- お申込・お問合せ：  
釧路短期大学附属図書館 TEL0154(68)5092

■本講座は、道民カレッジ連携講座\*・私立大学等改革総合支援事業「高齢者向けの生涯学習事業」にも該当します

\*本講座受講により次のとおり単位が取得できます  
第3回のエクステンションツアーへの参加により「ほっかいどう学」コース6単位、ほか6講座の受講により「教養」コース9単位

都合により内容に一部変更が生じる場合がございます。予めご了承願います